

# いきいきチャレンジ！ リニューアルにあたって

独立行政法人福祉医療機構 理事長 長野 洋

平成2年の長寿社会福祉基金から始まったWAM基金の助成事業も、もうすぐ20年目を迎えようとしています。

助成団体も創設当時は財団・社団法人および社会福祉法人が7割近くを占めていたのに対し、平成10年に特定非営利活動促進法（NPO法）が施行されたことを機に傾向が変わり、21年度はNPO法人と任意団体が8割以上という結果になり、NPO法人の躍進に目を見張ります。

この20年間で振り返りますと、平成8年から平成10年の間に高齢者・障害者福祉基金、子育て支援基金、障害者スポーツ支援基金とつぎつぎに基金が創設され、そして平成10年に本誌「いきいきチャレンジ！」が創刊されました。その後、平成15年に事後評価を導入、平成18年には複数年助成を、平成19年には地方分モデル事業助成を開始するなど、様々な取り組みを行ってきました。

この6月には皆様の助成ニーズに柔軟に応えられるように、通常の助成事業募集とは別に特別に助成事業を募集いたしました。

今後は、昨年10月に策定しました民間活動応援宣言を実現すべく当機構の他事業とも連携して福祉・医療に関する民間活動を様々な角度から積極的に応援していきたいと考えています。

そのような節目の時期に新たな思いで「いきいきチャレンジ！」

## ■ オピニオン

ンジ！」の誌面についても見直すことにしました。新生「いきいきチャレンジ！」では、以下の4つの観点到重きを置いて取材編集することになります。

●今や地域社会にとってなくてはならない存在であるNPO法人が、その役割を十分に発揮するためには、組織や財政の強化、市民活動の拡張など様々な課題があります。それらの課題解決に必要な情報・知識を提供し、その活動を応援していきます。

●本誌の読者や当機構の利用者を常に意識し読者の目線に立つてそのニーズを捉えた誌面を作るとともに、読者にとっても本誌に親しみを持ってもらえるような誌面作りを心掛けていきます。

●私どものラジオ番組「メイコのいきいきモーニング」や月刊誌WAM及びWAMNETなどを横断的に活用して、地域に密着したNPO法人や福祉活動団体の事業内容を広く普及・啓発するための情報を発信していきます。

●手作りの情報誌として、より多くの現地視察や取材を通して意見交換・情報収集を行うなど主体的な誌面作りを目指していきます。

まだ動き始めたばかりですが、今日的な福祉課題への取り組みや波及効果の高い事業・先駆的事业の紹介にとどまらず、例えば団体運営をする上で避けては通れない諸問題の解決方法や成功に至らなかった事例からの学び等、独自の観点からの取材・編集をもとに他誌では得ることのできない、NPOや福祉団体にとって有意義な情報を発信できればと思っています。

皆様からのご意見やご要望をいただければと願っています。

WAM

「WAM（ワム）」は、福祉（Welfare）と（And）医療（Medical service）の頭文字をとって名づけられた、独立行政法人福祉医療機構の略称です。

